

話 題

第二回日韓水産学会合同シンポジウムに 参加して

細川雅史

北海道大学大学院水産科学研究院

平成24年11月16日に第二回日韓水産学会合同シンポジウムが韓国釜山のBEXCOで開催されました(写真1)。第一回目の合同シンポジウムが日本で行われたことから今回は韓国での開催となり、2012年韓国水産学会年会のプログラムの一部として企画されました。日本水産学会からは会長の渡部終五教授(北里大学海洋生命科学部)を代表に、シンポジストとして広島大学大学院生物圏科学研究科 堀貫治教授、佐賀大学農学部 亀井勇統准教授と筆者(北海道大学大学院水産科学研究院 細川雅史)の計4名が参加しました。

シンポジウムに先立って韓国水産学会の総会が行われ、その中で渡部会長が挨拶された後、韓国水産学会の会長であり本シンポジウムを企画された南澤正教授(釜慶大学)との記念品の交換が行われました(写真2)。

その後、シンポジウムが開始され、タイトル“Analysis of functional components from seaweeds and prospects in development for their applications”にあるように海藻中の機能性成分に関する最新の研究内容が、韓国側からの3名の先生を含む計6名によって紹介され、討論が行われました。演題は下記の通りです。

1. K. Hori (Hiroshima Univ.): Four types of high-mannose N-glycan-specific lectins from algae — Multifunctional proteins with potent antiviral and antitumor activities —
2. Y.M. Kim (Pukyong National Univ.): Fermentation of seaweeds and functionalities
3. M. Hosokawa (Hokkaido Univ.): Fucoxanthin — Potential for the prevention of obesity and type2 diabetes —
4. S. H. Lee (Korea Food Research Institute): Biological activities of phlorotannins derived from *Eisenia bicyclis*
5. Y. Kamei (Saga Univ.): Sargaquonoic acid and sargachromenol isolated from a marine brown alga, *Sargassum macrocarpum* promote neurite outgrowth and support the survival of neuronal cells.
6. S. J. Heo (Korea Institute of Ocean Science & Technology): Anti-tumor effects of a carotenoid isolated from brown algae and analysis of related signaling



写真1 第二回日韓水産学会合同シンポジウムが開催された釜山 BEXCO



写真2 日本水産学会 渡部終五会長と韓国水産学会 南澤正会長との記念品交換

pathway

個々の発表内容については割愛しますが、何れも海藻の機能性素材としての高いポテンシャルを示す興味深い内容でした。海藻レクチンやフコキサンチン、フロロタンニン、サルガクロメノールなど海藻に特徴的な成分による疾病予防効果や改善作用の可能性が明らかにされたばかりでなく、醗酵による高機能化に関する新たな研究内容が紹介されました。全体を通じて、日本と韓国両国における海藻の有効利用に関する研究内容が世界をリードするものであることを再認識できた有意義なシンポジウムでした。

私自身、韓国の水産学会に初めて参加したので、シンポジウム前後の時間を利用してその様子を拝見したり、展示会場にも足を運びました。韓国水産学会は、分野の異なる5つの学会が連合してできた新しい学会ですが、何れの分野においても、参加者に占める若

手研究者や学生の割合が日本と比較して高いように感じました。そのため会場内やホールが活気に満ち溢れており、研究にかける若い力を感じて刺激になりました。また、BEXCO内の展示ホールでは、釜山国際水産貿易EXPOが同時に開催されていました。韓国を中心に世界各国の水産企業が数多く出展しており、展示規模の大きさに驚きました。水産物の消費拡大や産学の連携を深める意味で、面白い試みであると思います。

夜は、学会懇親会に招待された後、南先生と日本から参加された先生方に加え、韓国水産学会の前会長であった鄭甫泳先生とともに、釜山が誇る美味しい水産物食べながらお酒を酌み交わす機会に恵まれました。私にとって忘れられない思い出となりました。今回のシンポジウムを企画しお世話頂いた韓国水産学会の皆様には厚くお礼を申し上げるとともに、貴重な機会を与えて頂きました日本水産学会に感謝申し上げます。